



学校法人 鉄路カトリック学園  
認定こども園 根室カトリック幼稚園  
園長 斎藤 久恵

皆様、明けましておめでとうございます。

平成最後の年となります新しい年の幕開けです。

保護者の皆様におかれましては、ご家族揃ってうれしいお正月を迎えた事とお喜び申し上げます。

昨年は、大きな災害に見舞われた年でした。

幼いお子さんを抱えた皆さま方の不安はいかばかりであった事かと思います。

胆振東部地震による北海道全域に及ぶブラックアウトの中、私たち根室市民もいつ復旧するかわからない不安な状況におかれました。

このことから恒例となっております保護者の会主催のバザーを断念するという決断を致しました。バザー準備のために貴重な時間を割いて頂きました保護者の皆様のご苦労に対して、心から感謝を申し上げますとともに、開催は実現できませんでしたが、そのご苦労は決して無駄にはならなかつたと確信しております。

“親の背中を見て育つ”とは、昔の人はよくいったものです。

子どもたちは、両親や先生が「どんなことに喜び」「どんなことに悲しみ」「どんなことに微笑み」「どんなことを大切にしているのか」を全身で感じ取っています。

その時にとる大人の行動が子どもたちの手本となり、その後の子どもの人格形成に大きくかかわってくると感じています。

子育ての中で『言葉でしっかりと話して聞かせること』はもちろん大事ですが、『おとなが自ら行動で示して見せること』の意義もまた大きいと思っています。

今回のような想定外の事が起きた時、誰かの痛みや苦しみを、自分の痛みや苦しみとして受けとめ、自分たちの楽しみを我慢してもバザー開催を中止とした保護者の会のみなさんの行動は、まさに『おとなが自ら行動で示して見せたこと』でした。

心の成長期にある園児たちにとって、お父さん・お母さんが、知らない誰かの痛みや苦しみに心を寄せて行動に移す姿を目の当たりに見ることは、たいへん大きな経験となりました。

子どもたちの心に“尊いこと”として深く刻まれたことでしょう。

これこそがカトリックの教育で私たちが子どもたちに一番伝えたいことの一つです。

新しい年も、長い歴史に裏付けられたカトリック教育を大切に守りながら、ご家庭の子育てに寄り添い、子どもたちの笑顔が響き合う幼稚園であるよう、職員一同心をこめて努めてまいります。

新しい年が皆様にとりまして平安で幸多き一年となりますようにお祈り申し上げます。